

おはようございます。今日は一人一台タブレットのお話です。  
みなさんは教室の黒板の横に、白いキャビネットが設置されているのを知っていますね。  
何を入れるためか、知っていますか？

今、豊中市内の全小中学生に一人一台のタブレットを配布する事業が進んでいます。  
二中では、まず3年生対象にタブレットが到着しました。

市内の生徒全員に配るとなると約32,400台必要です。何のためにたくさんの予算を使って、わざわざ「一人一台タブレット」なんて決めたのでしょうか。

4月からしばらく新型コロナの関係で臨時休業が続いていたとき、「オンラインで授業ができないのか」という要望がたくさん寄せられました。  
二中では、CiscoやZoomを使って、皆さんが学校に来ることができなかつたときに連絡をとったり、補習学習をしたり、ということをしてしています。  
けれども、その時間に、iPadやスマホやパソコンがうまくつながらなかつたり、使えなかつたりする人もいました。

これから、インフルエンザも含めて、いつ臨時休業になるかわかりません。  
災害時や感染症の発生などによる学校の臨時休業等の緊急時においても、皆さんが勉強するのに困らないように、全員分をそろえたのです。  
学習に使うために豊中市から借りていることを忘れないでください。  
3年生は、タブレットを使うときのルールについて勉強したことをしっかり守ってください。特に個人情報については、気を付けないと、軽い気持ちでネット上にあげると、大変なことになる場合があります。

- ・自分のID（パスワードなど）を人に教えない。
- ・自分や他人の個人情報（名前・写真など）はインターネット上に絶対に上げない。
- ・相手を傷つけたり、いやな思いをさせたりすることを絶対に書き込まない。

いずれ、1・2年生にも導入される時期が来ます。その時には、みなさんが緊急時にも困らないために用意されたタブレットで、間違った使い方をしないように、お願いします。ICTをうまく利用して、学習の世界を広げていきましょう。